

【自由記載】

多くの方々からたくさんのご意見をいただきましたので、一部を紹介いたします。

問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(選択肢 13「その他」への記載)

家族の健康、幸せ。 ◆(20～29 歳 男性 西部)
自然災害の被害が少ない。 ◆(20～29 歳 その他・回答したくない 西部)
専門医師、公共交通機関。 ◆(60～69 歳 女性 東部)
子育てのしやすさ。 ◆(50～59 歳 女性 中部)
文化度の高さ、IT 環境の充実度、交通の便。 ◆(50～59 歳 女性 東部)
買い物・食事環境。 ◆(50～59 歳 男性 東部)
相談、支援の充実。 ◆(40～49 歳 女性 東部)

問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。
(選択肢 8「その他」への記載)

学校(小学校)教育の中で取り組めるよう働きかける。 ◆(70 歳以上 その他・回答したくない 東部)
事業所に、育休取得率に応じた補助金を支給する制度の整備、育休を取得した職員の業務をフォローした職員への手当支給。 ◆(20～29 歳 女性 東部)
女性の家事・育児離れを推進する啓発。(男性の家事・育児への参加意欲があっても、女性側が男性に任せる意欲がなく、家事・育児を手離したまらないケースあり) ◆(30～39 歳 男性 中部)
男女問わず 40 代より年配の方の家事、育児への参加意識の無さから職場において若者が家事育児を理由に休みにくい環境になっているので、年配者の意識改革が必須。 ◆(30～39 歳 男性 西部)
経営者の意識改革に向けた取り組み。 ◆(30～39 歳 男性 西部)

問9 男女参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。
(選択肢 10「その他」への記載)

子育て、結婚に関係なく、休んだり趣味や家庭のことに打ち込める労働環境整備支援。 ◆(40～49 歳 女性 東部)
無意識の差別の是正。 ◆(50～59 歳 女性 東部)

<p>当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成。 ◆(50～59歳 男性 中部)</p>
<p>40歳以上の固定的性別役割分担意識変化の改革。 ◆(40～49歳 女性 東部)</p>
<p>子育て、介護で離職しなくても良くなる仕事の仕方の見直し。誰もが家族ファーストで仕事に取り組めるようになれば行政に頼らずとも仕事と家庭の両方が充実する気がします。 ◆(40～49歳 女性 東部)</p>

問 10 あなたは、これまで犯罪の被害者となった場合のことを考えたり、被害を受けた後の生活などを想像して不安を感じたことがありますか。(選択肢5「その他」への記載)

被害者にも加害者にもなり得ると思って生活している。
あまり現実的ではなく意識がない。
被害者になったことがあり、不安を感じる。
空き巣の被害にあいました。犯人と思われる人物は他の事件で逮捕されましたが、すぐ(何年かで)出所。何度も犯罪を繰り返しているようです。家も近所であり顔も知っていたので、ずっと不安と恐怖と怒りで何年たっても不安な気持ちは無くなりません。当初は体調も悪くなり病院に通院するようなことになってしまいました。一度こんなことがあると、まるっきり元のように戻れません。

問 12 あなたが犯罪被害にあった場合を想定したとき、行政に求めたい支援は何ですか。(選択肢6「その他」への記載)

家族のサポート、個人情報など。
犯罪被害者に考慮した環境づくり、社会づくり。
過剰な報道による被害の防止。
精神的、身体的、経済的支援。
犯人の迅速な逮捕と被害の補償。

問 13 あなたが犯罪にあったときに、受ける二次被害として最も深刻だと思われる被害は何ですか。(選択肢6「その他」への記載)

最も深刻という順位付けでなく、どれも二次被害として重なり合う。
2,3,4などの統合的な噂話等による精神的な打撃。本当は1つに絞りたいと思う。1も5も当然。
1つだけに限定できない。犯人の刑が終了した後も心配である。
1～5すべてだと思う。どれか1つだけ選ぶことはできない。
1～5のチェック項目全て。これらの項目はどれか一つでなく同時に発生する深刻な被害と言えます。

自由記載欄(「ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください」への記載)

<p>県の施策等についての情報(アンケート結果なども含めて)を、SNSなども使って、県民が身近に知る、考えることができる方法を検討してほしい。すでにできているなら、広報をして、教えてほしい。情報公開を積極的にしてほしい。 ◆(70歳以上 女性 西部)</p>

<p>何度かまちづくりの取り組みに参加したが、行政職員の人材育成が後回しになっているように感じた。時間がかかるうえインパクトが少ない取り組みではあるが、10年後を見据えると手厚くやっておいた方がいいのではないか。まちづくりについてお金を配るだけの取り組みになってはいないか。お金は使い方を教えることがとても大切である。住民参加のまちづくりを促進したいのであれば、住民の伴走者になる・なれる職員・人材がもっと必要だと感じる。</p> <p>◆(30～39歳 その他・回答したくない 中部)</p>
<p>個人的に衣食住に困ることなく、暮らしやすいとは思いますが、鳥取県の名前を出した際に大抵の方が「砂丘以外に何があるの?」と言います。県民も「なにもない」と言う方もいます。なので、県民にも県外の方にも伝わるような特徴的なものが増える or 積極的にアピールするといったと思います。</p> <p>◆(20～29歳 その他・回答したくない 西部)</p>
<p>もう少し若い人の意見を取り入れて欲しい!</p> <p>◆(18～19歳 男性 中部)</p>
<p>鳥取県は、自然豊かで人と人が密なコミュニティが作られている地域だと思います。暮らしやすく愛溢れる鳥取県の魅力を最大限にPRし、古き良きものは残し、新しい風を入れながら、若者が住みやすく、子育てしやすい環境が構築される町づくりが必須だと思います。高齢者社会の先陣を切る勢いで、高齢者と若者比率が大きい鳥取県。この高齢化を支える若者が、生き生きと生きる地域を鳥取県から発信して欲しいです。</p> <p>◆(18～19歳 女性 東部)</p>
<p>人口減少が問題となっている昨今ですが、人口増加に結び付く対策が喫緊の課題だと思っています。若い方々が結婚しやすく、子育てしやすい鳥取県独自の取り組みを全国にアピールして、鳥取県が人口増加の先進県となるよう期待しています。最後に、あらゆる税金が高すぎます。鳥取に安心して永住できるよう、様々な取り組みをお願いします。</p> <p>◆(50～59歳 男性 東部)</p>
<p>関係人口の創出にフォーカスすると、県外から関心を持つ関係人口予備軍に対してアプローチが弱いと感じている。鳥取県は県外からの移動手段を考えると、羽田空港からの飛行機や鉄道も通ってはいるものの、遠いからなかなか行きづらい固定概念が、県外の人たちは先立ってしまうようで、それが足を運ぶことを阻害してしまっているように思う。関係人口になり得る機会は、県内の多様な場所に溢れてはいるものの、交通の便という初期段階のハードルの高さが、貴重な機会創出の邪魔をしまっているように感じる。また、住んでみたいけど、住むに値する住居や生活環境が場所によってはないことが、貴重な移住機会を遠ざけてしまっているように思う。</p> <p>◆(20～29歳 女性 東部)</p>
<p>県外の外国人留学生は出会う人みんなと言っていいぐらい、名探偵コナンファンです。鳥取に遊びに来てもらっても、鳥取空港に行く公共交通手段がほぼ無いのでせつかくの観光資源を活用できるよう交通を整備して欲しいです。災害時の外国人(在住者、観光客)支援について、もっと具体的、積極的な計画が必要だと思います。子育てに関して、自然の中で育つメリットは大きいですが、中学高校と学びを進める中で、都会の学生に比べて文化的刺激が少ない環境にあります。県外に出るのにも費用がかかり、都会の学生と同じ機会を得るにはハンデが大きいです。大会や学会への参加などの支援として県立高校に補助が出ればと思います。</p> <p>◆(50～59歳 女性 東部)</p>
<p>鉄道・道路の整備の促進をお願いいたします。それにより大都市との距離感もなくなり、豊かな自然を生かした都市環境が構築できる。</p> <p>◆(70歳以上 女性 西部)</p>
<p>総じて鳥取は住み良い町ですが、自家用車が無ければどこへも自由に出かけられません。公共交通機関の更なる充実と復活をお願いしたいです。</p> <p>◆(70歳以上 男性 東部)</p>

<p>老後、交通機関が無いため生活が不安です。バスの本数以外にも、交通機関を増やしてほしい。家の近くまで来てくれる乗り合いバスなど。</p> <p>◆(30～39 歳 女性 中部)</p>
<p>防災が気になっています。災害時本当に何をしたら良いのか経験が無く不安。高齢者、障がい者等弱者の不安にも耳を傾けてほしい。(もしかして私の勉強不足ならすみません)</p> <p>◆(60～69 歳 女性 西部)</p>
<p>男尊女卑はまだまだあります。また、地域差別もまだまだ根強く残っています。世の中がどれだけ綺麗事(差別は無くそう的)を言っても男尊女卑や地域差別の考えで育った人はなかなか考えを変えるのは難しい。義務教育からしっかり(今もやっていますが)更に時間をかけて教育する事が重要ではないでしょうか。</p> <p>◆(50～59 歳 男性 西部)</p>
<p>生活者が抱える問題は複雑化しており、重層的支援体制の実質的な取り組みが強く求められている。現場に最も近い民間支援団体からの聴取を行いながら支援が当事者への的確に届く施策の推進をお願いしたい。</p> <p>◆(60～69 歳 男性 東部)</p>
<p>障害者が社会の中で安心して生活できる仕組、相談できる窓口などを作って頂きたいです。障害者は一生の中で仕事があったりなかったりするの、安定した生活ができるような社会の仕組を作って欲しいです。障害が軽度の場合ほとんかく就労していくしかないの(生きるためには)</p> <p>◆(50～59 歳 男性 西部)</p>
<p>病児保育や学童施設の充実をお願いします。どこも満員で、仕事を休まざるをえません。</p> <p>◆(40～49 歳 男性 東部)</p>
<p>子育て支援において、預かり保育、一時預かりの利用や学童放課後児童クラブの利用をしやすくして欲しい。就労時間が短いと入れないのは非常に困る。小学校低学年での1人の留守番になってしまい危険や不安を感じる。就労している家庭は皆が利用できるようなになればよい。</p> <p>◆(40～49 歳 女性 西部)</p>
<p>小学、中学の特別支援教育の支援強化、拡充をお願いします。</p> <p>◆(70 歳以上 男性 東部)</p>
<p>不登校に対する高校の対策が少ない。子供にとって選択肢になることが少ない。リモート授業でも単位が取れるなど、多くの選択肢が必要。早急に検討が必要です。</p> <p>◆(50～59 歳 女性 西部)</p>
<p>子育て支援に力を入れているのは伝わっているので、若い人が働きたい会社や環境を整えていってほしい。都会と比べ賃金も安い上に選択肢も少ないのでそこがネックになっていると思う。企業誘致なども県で進めていけたら新しい雇用が生まれて活気が出てくると思います。</p> <p>◆(30～39 歳 男性 東部)</p>